

黒埼体操クラブ海外遠征合宿記

ほめて育てる米コーチ

平成9年12月25日から平成10年1月6日まで、黒埼体操クラブは初の海外遠征合宿を行いました。先月号に引き続き、同クラブ理事の谷川一寛さんと選手が合宿について報告します

りとにかく良かったです。
12月28日 日曜日
午前7時30分、中庭で朝練習をして、8時にレストランで朝食を取りました。午前9時30分から午後1時30分まで練習をして、その後5時まで、航空機の展示場の見学をしました。数百機の飛行機が展示してあり、B29もありました。夕食はホテルでカレーライス。日本から持ち込んだカレー粉と米で富田さんの奥さんと女性の先生が作ってくれ、生徒たちもお代わりをたくさんしてしまいました。

12月29日 月曜日

午前7時30分、中庭で朝練習をして、8時にレストランで朝食を取りました。午前中はナイキショップのあるフットヒルモールでショッピングをして、昼食は中華を食べました。香辛料が日本人好みで、特にチャーハンが大人気でした。午後4時から7時まで練習。夕食は昼が重たかったので、サラダバーへ行きました。最近の高校生には野菜は人気薄のようでした。ミーンティング。

12月30日 火曜日

午前8時30分ツーソンを車3台に分乗して出発。600kmの行程をフリーウェイを使い、午後4時にグランドキャニオンに到着しました。グランドキャニオンのスポットで、雄大な渓谷

450kmの一部を目の当たりにして感動しました。午後6時30分からグランドキャニオンの劇場で歴史の映画を鑑賞しました。3D方式立体映像と音の迫力がすごかったです。
12月31日 水曜日
午前8時出発。グランドキャニオンのデザートビューという



左から清水さん、加藤さん、高橋さん、富田さん夫妻、谷川さん、桜井さん（グランドキャニオン）

0kmの行程でした。ラスベガスはサーカス・サーカスというホテルに泊まり、生徒はサーカスを観たり、ゲームセンターでお楽しみ。大人はギャンブルコースに行く人もいました。また、この日は大晦日でカウントダウンをアメリカ人と声高らかに数えました。いろいろな言葉が飛び交っていました。が、運転手だけは、早く寝たようでした。何しろ次の日はかなりの長距離ドライブの予定でしたから。

1月1日 木曜日

午前9時30分ラスベガス発。700kmの行程を戻りフェニックスを通過してツーソン着。夕食は、日本から持参した材料で、女性陣が作ってくれた雑煮でした。懐かしい味でした。

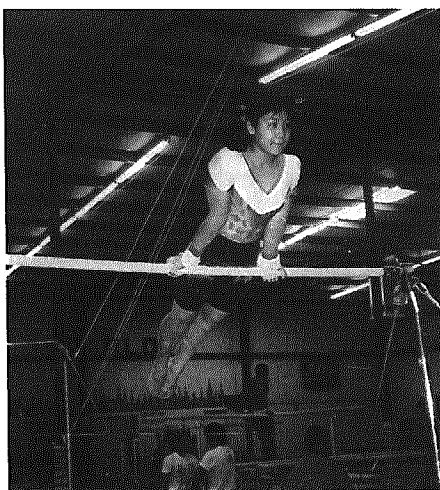
1月2日 金曜日

午前7時30分、中庭で朝練習をして、8時にレストランで朝食を取りました。午前9時30分から午後1時30分まで練習。午後からアリゾナ大学周辺でリサイクルショップを散策し、各自昼食を取り、夕食はツーソンモールで各自取りました。大人は

ようやくステーキを食べました。アメリカカンピーフは安くて大きく味も良かったです。
1月3日 土曜日
午前7時30分、中庭で朝練習をして、8時にレストランで朝食を取りました。午前9時30分から午後1時30分まで練習。午後から最後のショッピング（インディアン民芸品）です。午後6時30分からアメリカの指導者、選手、保護者など70名ほどが集まりました。挨拶は同時通訳で、英語、日本語、ジェスチャーを交えて交流を深めました。
1月4日 日曜日
正午ちょうどにホテルを出発。午後1時30分ツーソン発。富田一家と最後の別れをしました。富田氏はロサンゼルスまで同行してくれました。午後3時、ロサンゼルス到着。車でサンタモニカへ移動。夕食は各自で、大人はまたステーキを食べました。日本人がかなりいました。
1月5日 月曜日
午前7時、ホテル発。午前10時、大韓航空2便で、成田に向かい帰国しました。
1月6日 火曜日
成田到着は午後2時30分で、所要時間10時間30分と帰りの時間の方が短く楽だったようです。町総合体育館には、予定通り午後9時に到着し解散しまし

た。また、寒い中での冬の練習が待っています。

最後に、練習については、専門的になるので詳しいことは省きますが、生徒の作文にもあるように、暖かかったので技術的にも進歩が見られ、新しい技にも挑戦できたので、大変実のある合宿だったと思います。もう少し長ければとも思いました。また、アメリカの選手に混じって練習できたことは選手にとっても大きな財産になったと思います。そして、アメリカのコーチはとにかく大きな声で「ほめる」ことが強く印象に残っています。黒埼体操クラブでも専用練習場が欲しいところです。日本でも各地でできています。早い時期に実現すると思います。指導



アリゾナ・ツーソンジムで練習中の神田さん

本は器具と違って床は跳ねるし、平行棒は細くてしなるし、跳び箱のロイター板は、すごいバネがあった。今までになかった。慣れるのにも時間がかかった。床と平行棒に関

者が力を合わせて良い選手を育てていきたいと思えます。

アメリカの旅 黒埼高校1年 神田 比呂子

12月25日やっこの日が来た。今まで、いろんな経験をしてきたが、こんなときどきしなは初めてだ。すごく楽しみな分、すごく不安だった。言葉が通じないことが一番大変だった。ある程度覚えた英語でも、なかなか言葉にして、話せなかつたりした。でも、2週間近くいれば、相手が言っていることも何となく分かってきたし、少しずつ答えられるようになってきた。

平行棒もそれなりによい練習内容だった。何度も何度も2回宙返り顔面着地してしまい、時には鼻血も出たり、車輪で吹っ飛んだりもした。だけど日が経つにつれて、車輪がよくなり最終日には、着地がとれるようになった。富田先生もすごくほめてくれた。他の種目もそれなりにがんばれたと思う。器具に早く慣れれば、もっとたくさんの技にチャレンジできたのにと、すごく残念に思う。

アメリカの旅は、もちろん練習だけじゃない。観光もあった。その中でもすごく強く印象に残ったのは、グランドキャニオンとラスベガス。グランドキャニオンは、行く前から楽しみにしていたが、本当に良かった。もちろん景色も良いが、すごく空気が新鮮であった。どんな場所から見ても絵になるし、とても広大な景色であった。ラスベガスは本当にびっくりした。特にジェットコースターに関して、日本のコースターはそれほど怖いということはないが、こ

のジェットコースターはたくさん回転するし、スピードも速くてすごく怖かった。絶対忘れたくないし、忘れたいと思った。本当にこの2週間、いろいろなことを学んだし、吸収したような気がする。こんな早い内から、こんな大きな旅ができたのは、親、指導者の方々、そして、富田さん一家のおかげだと思ふ。アメリカの良いところをたくさん知ったし、いろいろな人との交流も深まったし、いろいろな旅だった。また必ず行きたい。本当に楽しかった。

海外研修合宿に参加して 新潟青陵高校3年 渡辺 雄祐

アメリカのツーソンに着いて、道路が日本では考えられないほど広く車の車線が多く、歩道がないことに驚きました。練習の初日は、器具慣らしでした。そこで、すごく感じたことは、「跳ねる」ということでした。僕が普段使っているジムの器具はバネがあまりなかったり、あまり跳ねないのに、アメリカのジムの器具はすごく跳ねるので、バネにあわせるのが大変でした。慣れからの練習は、すごくやりやすく、来て良かったと思えました。本格的に練習したのは、6回で毎回4時間の

練習でした。ここアリゾナ州は、気温が高く体も良く動き、群馬の人と一緒に練習ができて、とても楽しく過ごすことができました。そして、富田先生に指導してもらい自分の体操が日増しに伸びてきているようでした。また、新しい技を何個か覚えることもできました。この海外研修合宿に参加して、自分にとってプラスのことが多かったのすごく満足しています。

観光で心に残ったところは、飛行機の博物館とグランドキャニオンです。飛行機の博物館では、何百種類もの飛行機が飾ってあり、中には日本を襲ったB29もありました。B29は、どの方面から飛行機が来ても、敵を打ち落とせるように銃が付いていて驚きました。グランドキャニオンでは、すごく寒くて、雪が積もっていて威風堂々とした広大な岩の並びは自然にできた形なのでしょう。最後に一番がっかりしたこと、食生活です。ステーキを期待していましたが、1回しか食べに行けなくて残念でした。アメリカの食事は、全てのものが味が濃くてあまり美味しいとは思いませんでした。やはり、日本食が僕にとっては一番であると思えました。でも、またいつか富田先生のジムに行つて練習したいです。